

市政概要

S H I S E I G A I Y O U



令和6年度 鹿児島市議会事務局

— 目 次 —

市紋章の由来	7
都市像	8
鹿児島市平和都市宣言	9
鹿児島市ふれあい長寿社会宣言	10
鹿児島市中核市移行宣言	11
男女共同参画都市かごしま宣言	12
かごしま環境都市宣言	13
鹿児島市民憲章	14
市旗	15
市木・市花	15
鹿児島市民歌	16
姉妹友好都市等との交流	17
ブランドメッセージ・シンボルマーク	18
総 説	19
1 生いたち	20
2 位置及び地勢	21
3 気 象	21
4 市域のうつりかわり	22
5 人 口	23
6 市庁舎	25
7 市史・市旗・市民歌等	27
議 会	31
1 議会構成	32
2 会議開催及び議案等審議状況	37
3 報酬及び費用弁償等	38
4 各種審議会等委員一覧表	39
5 市長、副市長	40
6 市議会の選挙・同意等	40
7 議会事務局	42
企 画	44
1 第六次鹿児島市総合計画	45
2 令和6年度の主要事業	49
3 市町村合併	59
4 鉄道・航空	60
5 公共交通（バス交通）の維持・確保対策	66
財 务	70
1 予算資料	71
2 市 債	76
3 決算資料	77
4 市有財産	78

5	市 税	80
総務		86
1	国際交流	87
2	広 報	89
3	シティプロモーション	91
4	機 構 図	93
5	職 員 数	97
6	給 与	101
7	旅 費	103
8	職員研修	105
9	情報システム	107
10	東京事務所	111
11	各種行政委員会（選管・監査・公平・農業委）	111
危機管理		113
1	安心安全	114
2	防災・危機管理	119
3	桜島火山対策	121
市民		127
1	広 聴	128
2	コミュニティ推進	130
3	地域活性化	132
4	市民協働	133
5	消費者行政	134
6	文化振興	135
7	国民年金	140
8	国民健康保険	141
9	市民サービスステーション	145
10	コンビニ等による証明発行	146
11	ワンストップ窓口サービスの実施	146
12	マイナンバーカード（個人番号カード）の交付	146
13	おくやみコーナー	147
14	住民異動手続き等における書かない窓口システムの運用	147
15	人権啓発	147
16	男女共同参画	148
環境		151
1	環境保全	152
2	環境衛生	161
3	清 掃	163
福祉・保健		170
1	健康づくり	172
2	地域福祉	174
3	介護保険	182
4	高齢者福祉	187
5	障害者福祉	197

6	生活保護	213
7	生活困窮者自立支援	214
8	保健衛生	215
子ども・子育て		225
1	子ども・子育て	226
2	保育所等の整備と保育内容などの充実	233
3	私立幼稚園等に対する助成	238
4	児童の健全育成	238
5	母子・父子家庭等の対策	250
6	給付	252
7	母子保健	254
8	結婚支援	257
産業		260
1	商工概況	261
2	融資制度	273
3	計量検査所	276
4	農林水産業	276
5	中央卸売市場	283
観光交流		289
1	観光の動向	290
2	観光施策の概要	291
3	観光施設等の状況	292
4	主な取組	303
5	主なイベント	304
建設		307
1	公園	308
2	緑化事業	311
3	都市計画概況	312
4	港湾	314
5	都市景観	316
6	住居表示	318
7	開発許可事務	318
8	市街地再開発	318
9	本市施行の土地区画整理事業	322
10	清算（特別会計）	328
11	建築確認事務	328
12	住宅	329
13	建築物の維持保全	332
14	建築物の環境対策	332
15	土木	333
16	高速道路	339
17	地籍調査	339
消防		341
1	消防力	342

2	活動状況	345
3	防災対策	347
4	消防団	348
5	職員・団員の処遇	349
文 教		350
1	第二次鹿児島市教育振興基本計画	351
2	学校の現況	352
3	学校教育	358
4	保健体育	365
5	学校給食	365
6	学校施設	367
7	社会教育	369
8	文化財の保護・活用	372
9	各種文教施設	372
10	世界文化遺産関係	388
11	文化財（指定文化財等一覧表）	389
病院事業		395
1	概況	396
2	経営の基本	396
3	事業計画	399
4	事業実績	399
5	財務	402
交通事業		404
1	概況	405
2	経営の基本	405
3	軌道事業	406
4	自動車運送事業	408
5	財務	412
6	市電・市バス路線一覧表	416
水道事業・公共下水道事業等		417
1	水道事業概況	418
2	事業計画	418
3	上水道	418
4	財務（水道事業）	426
5	簡易水道等	428
6	工業用水道事業概況	428
7	財務（工業用水道事業）	429
8	公共下水道事業概況	430
9	整備計画	431
10	公共下水道	431
11	財務（公共下水道事業）	437
12	地域下水道	439
13	令和6年度 主な新規事業	439
船舶事業		440

1	概　　況	441
2	経営の基本	441
3	事業実績	443
4	財　　務	444
各種団体	446
1	外郭団体等	447
2	鹿児島市社会福祉協議会（社会福祉法人）	453
3	鹿児島市社会事業協会（社会福祉法人）	454
4	鹿児島市シルバー人材センター（公益社団法人）	455
付　　録	456
1	県関係国會議員名簿	457
2	県議会議員名簿	457
3	地方自治関係団体役員名簿	461
4	都市要覧	461



市紋章の由来

藩主島津家の紋章「丸に十の字」と「市」の文字を図案化したもので、四方の矢印は四方八方に発展する市の姿を象徴する。

この市紋章は、懸賞募集により、市民からアイデアを求めたもので、大正15年11月24日に、鹿児島市の紋章として制定され、昭和42年4月29日、新市の発足とともに、市紋章として制定された。

都市像

多彩で豊かな地域資源に恵まれ、県都として多様な都市機能が集積した鹿児島市は、南九州の中枢中核都市として着実な発展を遂げてきました。

一方、人口減少・少子高齢化の進行、グローバル化やＩＣＴ等新技術の進展、災害や感染症リスクの高まりなど、私たちの社会や個人の暮らしを取り巻く環境は大きく変わろうとしており、こうした変化に的確に対応し、課題を克服しながら、将来にわたり持続可能なまちをつくりあげ、次の世代へ引き継いでいかなければなりません。

そのため、市民一人ひとりが互いに尊重し合い、個性と能力を発揮しつつ、市民、事業者、鹿児島への想いを寄せてくださる多くの人々、関わりのある団体など、さまざまな交流を通じ、相互のつながりを深めることにより、新たな価値が生み出され、多彩な人材やまちの魅力が豊かな彩りとなる、人もまちも躍動する鹿児島市の創造を目指し、次の都市像を掲げます。

つながる人・まち 彩りあふれる 跳動都市・かごしま

私たちの目指すまちでは、人やまちの多様なつながりの中で、互いに支え合い、その英知を結集することで、地域社会に温もりと活力が満ちています。

豊かな自然と調和した環境の中、私たち市民は、子どもから高齢者まで、自分らしく健やかに生き生きと暮らしています。

また、まちへの誇りと愛着を持つ人の輪が拡がり、多彩な魅力が国内外に発信され、多くの人々を惹きつけ、交流とにぎわいを生み出しています。

そのようなまちの中で、次代を担う多彩な人材が育まれ、未来への希望にあふれています。

鹿児島市平和都市宣言

わたくしたちの郷土鹿児島市は、先の大戦により市街地のほとんどを焼失し、多くの尊い人命と財産を失った。

鹿児島市は、その焦土の中から立ち上がり市民の英知とたゆまぬ努力によって、今日、南九州の中核都市として限りない発展を続けている。

わたくしたちは、この平和で豊かな郷土を次の世代に引き継ぐために、再び戦争による惨禍を繰り返さないことを誓い、あらゆる国の核兵器の全面廃絶と国是である非核三原則の遵守を希求し、世界の恒久平和の達成を願い、ここに「平和都市」を宣言する。

平成2年2月26日

鹿児島市

鹿児島市ふれあい長寿社会宣言

親から子へ、子から孫へ、家族から隣人へ、そしてまちへと広がっていくふれあいの輪。

そこには、暮らしの中に生きる豊かな心があります。

わたくしたちは、励ましあい、助けあい、この輪を大きく広げ、ぬくもりに満ちた長寿社会を築いていきます。

さんさんと輝く南の太陽のもと、健やかな心と体をつくります。生き生きとした日々を送るために。

自らの能力をさらに高め、社会に役立てます。生きがいに満ちた人生のために。

高齢者を敬い、豊かな経験と知恵に学びます。いまと未来へ生かすために。

家族のきずなを大切にし、明るい家庭をつくります。心が通うやすらぎの場にするために。

世代を超えてふれあい、共に生きる喜びを分かちあいます。思いやりに満ちた社会にするために。

平成6年9月15日

鹿児島市

鹿児島市中核市移行宣言

鹿児島市は、明治22年4月1日に市制を施行し、以来、市民の英知とたゆまぬ努力により、幾多の困難と試練を克服し、いまや、人口54万有余を擁する南九州の中核都市として発展を続けている。

鹿児島市は、誕生して108年目を迎える今、全国で最初の中核市として、未来に向かって新たな第一歩を踏み出す。

私どもは、中核市の役割と責務を自覚し、市民サービスの向上と、個性豊かで魅力あふれるまちづくりを一層積極的に進め、日本の南の拠点都市としてのさらなる飛躍と発展を目指すものである。

ここに、中核市への移行を力強く宣言する。

平成8年4月1日

鹿児島市長 赤崎義則

男女共同参画都市かごしま宣言

樟薰り花々の匂う美しいまち“かごしま”。煙立つ火の島に熱き思いを寄せて、このまちの永遠にわたる豊かさを願う私たちは、男女がともに参画し個性を生かしあう恒久の理念を掲げて、ここに「男女共同参画都市かごしま」となることを宣言します。

- 1 男女がお互いにその人権を尊重しあい、人間らしく、自分らしく生きることができることをめざします。
- 1 性別による固定的役割分担意識を改め、男女に不均衡な制度・慣行を見直し、ジェンダー・フリーな社会をめざします。
- 1 一人ひとりがその能力を十分に発揮し、自らの意思と行動により、あらゆる分野に男女が対等に参画できる社会をめざします。
- 1 男女が共に自立し、より豊かなパートナーシップを紡ぎ出すことにより、家庭生活と社会的活動を支え合う社会をめざします。
- 1 国際社会の一員として、相互の理解と協力をもって、世界の平等・開発・平和をめざします。

平成13年1月30日

鹿児島市

※この宣言において、「ジェンダー・フリー」は「性別にかかわりなく、個性と能力を十分に発揮することができる」という意味で使用している。

かごしま環境都市宣言

私たちのまち“かごしま”は、桜島、錦江湾、甲突川など、
豊かな自然と調和した、世界に誇れる美しいまちです。

私たちは、この恵まれた自然の中で、先人が育んできた歴史
や文化を大事に受け継ぎながら、暮らしています。

その一方で、今日の便利で快適な生活は、私たちの愛してや
まない“かごしま”に、そして、かけがえのない地球に、深刻
な影響を与えています。

いまこそ私たちは、地球と共に生きていることを深く認識し、
この大切な地球の環境を、郷土“かごしま”的環境を、私たち
自身で守り、より良いものにしていかなければなりません。そ
して、次の世代に引き継いでいかなければなりません。

ここに、すべての市民は、共に力を合わせて、環境にやさし
い持続可能なまち“かごしま”を築いていくことを宣言します。

平成20年10月10日

鹿児島市

鹿児島市民憲章

(昭和42年4月29日制定)

わが鹿児島は、多くのかがやかしい歴史と、南国の美しい自然とで、すべての人々に親しまれています。

わたしたちは、つねに教養をたかめ、広い視野にたってこのめぐまれた郷土を、一層すぐれた近代都市として発展させなければなりません。これが、わたしたちの理想であり、また大きな喜びであります。

わたしたちは、この使命をなしとげるために、ここに市民憲章を定め、こぞって、つぎのことがらを守り、力強く前進していきたいと思います。

1. わたしたち 鹿児島市民は
みんな 力をあわせて
美しい町をつくりましょう。

1. わたしたち 鹿児島市民は
みんな よく働いて
豊かな町をきずきましょう。

1. わたしたち 鹿児島市民は
みんな きまりを守って
明るい町にいたしましょう。

1. わたしたち 鹿児島市民は
みんな 助け合って
子供たちの幸福を守りましょう。

1. わたしたち 鹿児島市民は
みんな あたたかい心で
旅行者をむかえましょう。

市旗

(昭和46年9月1日制定)



構成…市旗の構成は、白色の地に黒色の市紋章
(昭和42年鹿児島市告示第5号)と赤色
の桜島の図形を配する。
規格…縦2、横3の比率とする。

市木・市花



市木 くすのき
(昭和43年11月1日制定)



市花 きょうちくとう
(昭和43年11月1日制定)

鹿児島市民歌

鹿児島市民歌

原詞 高城俊男
補詞 鹿児島市民歌制定委員会
作曲 中田喜直

昭和47年6月15日 制定

♩ = 108位

明るく、力強く、そして美しく

一、みなみの空に 青空に
きょうも火をふく 桜島
ああふるさとは ふるさとは
生きるよろこび 歌うまち
鹿児島 鹿児島
ゆたかな 鹿児島
ゆたかな 鹿児島
鹿児島 鹿児島
鹿児島 鹿児島

二、錦江湾に 潮みちて
わかい息吹の 陽がのぼる
ああふるさとは ふるさとは
花とみどりの かおるまち
鹿児島 鹿児島
みどりの 鹿児島
みどりの 鹿児島
鹿児島 鹿児島
鹿児島 鹿児島

三、城山に立ち あたらしい
風のゆくえを みつめよう
ああふるさとは ふるさとは
夢が未来へ ひらくまち
鹿児島 鹿児島
あしたの 鹿児島
あしたの 鹿児島
鹿児島 鹿児島

姉妹友好都市等との交流

鹿児島市は、外国の都市との教育・文化・経済などの交流を通じ、友好親善や世界の平和と繁栄に貢献するため、イタリアのナポリ市、オーストラリアのパース市、アメリカのマイアミ市と姉妹都市盟約を、中国の長沙市とは友好都市を、またフランスのストラスブール市とはパートナーシップ協定を締結しています。

また、国内では、山形県の鶴岡市と兄弟都市の盟約を結び、交流を深めています。
※詳しくはP 87~88を参照

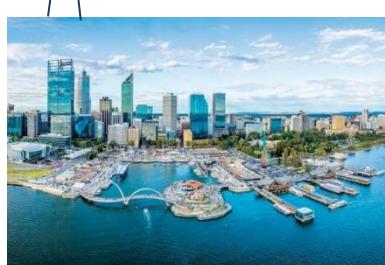
- ・パートナーシップ協定都市
ストラスブール市（フランス）
令和元年11月25日締結



- ・友好都市
長沙市（中国）
昭和57年10月30日締結



- ・姉妹都市
マイアミ市（アメリカ）
平成2年11月1日盟約



- ・姉妹都市
ナポリ市（イタリア）
昭和35年5月3日盟約

- ・姉妹都市
パース市（オーストラリア）
昭和49年4月23日盟約

- ・兄弟都市
鶴岡市（山形県）
昭和44年11月7日盟約

ブランドメッセージ・シンボルマーク

鹿児島市シティプロモーション戦略ビジョンに基づき、平成31年3月、市民等による投票で決定しました。

市民をはじめ、鹿児島市に想いを寄せる方々と共有して、まちを盛り上げ、鹿児島ファンの輪を広げていくために活用します。

〈ブランドメッセージ〉あなたとわくわく マグマシティ

鹿児島市ならではの魅力や価値を凝縮した言葉で、「こんなまちでありたい」という願いを表すシティプロモーションの合言葉です。

〈シンボルマーク〉

ブランドメッセージを分かりやすく伝えるシンボルの役割を担うマーク。鹿児島市民を赤い糸、市外の人々を青い糸とし、交流から新しい鹿児島市を紡いでいきたいという思いを桜島の形で表現しています。（下図）



〈ステートメント〉

ブランドメッセージとシンボルマークに込めた思いを表す次の文章です。

マグマ、それは、桜島が宿すエネルギー。
それは、大らかであたたかく、時に熱い人々の心。
そして、人と人が紡ぎだす、未来への力。

ここは、みんなの思いをあわせ、
夢へと向かっていける「マグマシティ」。

もっとつながりたくなる、夢をかなえたくなる、ここで暮らしたくなる……。
わくわくする明日を、あなたと。